



コンバインドソリューション で IT サービスデリバリーを改善 する 5 つの方法

将来を見据えた企業は、コンバインドソリューションによって機敏性が向上すると考えています。このような企業は、常に利用率を測定し、そのデータを利用して、ビジネスに必要なソリューションの再生、再利用、および拡張を実現しています。

1 | リソース利用率の向上

IDC のレポートによると、将来を見据えた企業は、現在を重視する企業よりもリソースを 20% 効率的に利用しています。これにより、従業員への支援が向上し、IT をプロアクティブなビジネスドライバに変えることができます。

2 | ビジネスの機敏性の向上

将来を見据えた企業は、市場の変化に適應する自社の能力を、現在を重視する組織よりもほぼ 10% 高く評価しています。これにより、ソリューションの市場投入までの期間を短縮することができます。

3 | 運用コストの削減

IDC によれば、最も将来を見据えたコンバインド IT 戦略を持つ企業が、最も大きな節約を実現しています。コストの削減により、効率と ROI が向上します。

4 | 強化されたディザスタリカバリ

将来を見据えた IT は、現在を重視する企業よりもほぼ 14% 高い回復速度を実現しています。これにより、インフラストラクチャの再生をより短時間で高いコスト効果で行うことができます。

5 | 高いアプリケーション可用性

IDC によると、将来を見据えた企業では、アプリケーションの可用性がほぼ 30% 高くなっています。このような企業は、コンバインドシステムを利用し、スケーリングと冗長性を通じてアプリケーションをオンラインに保っています。



IT 部門を将来を見据えた組織に変革

コンバインドインフラストラクチャには、さまざまなビジネス上のメリットがあります。デルのコンバインドソリューションは、インテル® Xeon® プロセッサを搭載し、将来を見据えてカスタマイズされた IT インフラストラクチャの導入を支援します。統合インフラストラクチャ、参照リファレンスアーキテクチャ、さらに特定用途向けに設計されたアプライアンスやハイパーコンバインドソリューションなど、幅広いオプションからニーズに合ったソリューションを選択いただけます。Intel Inside® 効果的なソリューションを。



..... 詳細はこちら Dell.co.jp/convergedsolutions

出典: デルの IDC カスタムリサーチ、「The Future-Ready Enterprise: Driving Business Results Today While Preparing for the Challenges of Tomorrow (The Future-Ready Enterprise: 今日のビジネス推進と明日の課題への準備)」(2015年10月)

Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、インテル、Intel ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、インテル Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、および Xeon Inside は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。